

# 衆議院経済産業委員会ニュース

【第201回国会】令和2年5月27日（水）、第13回の委員会が開かれました。

## 1 経済産業の基本施策に関する件

- ・ 梶山経済産業大臣、宮島財務大臣政務官、中野経済産業大臣政務官、門国土交通大臣政務官、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。  
(質疑者) 山崎誠君（立国社）、畦元将吾君（自民）、鰐淵洋子君（公明）、斉木武志君（立国社）、宮川伸君（立国社）、柿沢未途君（立国社）、笠井亮君（共産）、足立康史君（維新）

(質疑者及び主な質疑事項)

### 山崎誠君（立国社）

- (1) 日本原子力発電株式会社敦賀発電所2号機の審査データ書き換え関係
  - ア 書き換える理由を原子力規制委員会との意思疎通の欠如とする日本原子力発電の説明に対する更田原子力規制委員会委員長の見解
  - イ 書き換え箇所の実際の数
  - ウ 書き換え箇所の発見に関する原子力規制委員会の審査や対応の在り方
  - エ 未固結を固結と書き換えるなど再稼働を目指した意図的な行為ではないかとの意見に対する原子力規制委員会の見解
  - オ 審査データ書き換え問題について日本原子力発電へ報告命令を出すべきとの意見に対する梶山経済産業大臣の見解
- (2) 洋上風力発電関係
  - ア 再エネ海域利用法に基づく導入の進捗状況及び導入における課題
  - イ 国土交通省による取組及び導入における課題
  - ウ 洋上風力について産業拠点育成に向けた経済産業省の支援策の在り方
  - エ 省庁の枠を越えスピード感をもって洋上風力発電産業を育成すべきとの意見に対する梶山経済産業大臣の見解

### 畦元将吾君（自民）

- (1) 持続化給付金の支給状況及び円滑な支給に向けた取組方
- (2) 令和2年度第一次補正予算に盛り込まれているウイルス等感染症対策技術の開発の支援対象と今後再度公募する可能性
- (3) 医療関連のベンチャー企業に対する経済産業省の支援状況及び今後の支援の方向性、支援するに当たり医療関連のベンチャー企業に期待すること
- (4) 原子力発電所に係る政府の今後の対応方針

### 鰐淵洋子君（公明）

新型コロナウイルス感染症対策関係

- ア 持続化給付金の対象拡大の検討状況及び今後のスケジュール
- イ 現在の持続化給付金の申請状況及び給付実績
- ウ 持続化給付金を同時期に申請しても給付時期に差が生じる原因
- エ 文化芸術関係者、関係団体に対する文化庁の救済支援策
- オ 土業及び商工会議所の活用を含めた持続化給付金の申請サポート体制強化の必要性
- カ 緊急事態宣言解除後の事業再開・継続支援の充実について梶山経済産業大臣の見解

## 齊木武志君（立国社）

### 日本原子力発電株式会社関係

- ア 厳しい経営状況の認識及び今後の経営状況の見通し
- イ 敦賀発電所2号機の安全審査データを書き換えた理由についての梶山経済産業大臣の見解
- ウ 原子力発電のみしか扱えないとする定款がデータ書き換えを招く原因となった可能性
- エ 定款を変更して他の電源も行えるように政府が指導する必要性
- オ 敦賀発電所増設予定地が使用済み燃料の貯蔵場所及び事実上の最終処分地となる懸念に対する見解
- カ 経営基本計画における増設計画に対する政府の認識の有無
- キ 電力需要が減少していく中で原子力発電所を新設することの妥当性
- ク 日本原燃株式会社と合併して原子力発電所の廃炉ビジネスへ転換するなど柔軟な事業転換を進めることについての梶山経済産業大臣の見解
- ケ エネルギー源としての水素の重要性についての梶山経済産業大臣の認識
- コ 電源開発株式会社と合併して水素発電を行う等コスト、パフォーマンスの良い、世界の趨勢に合うエネルギー政策を模索する必要性についての梶山経済産業大臣の見解

## 宮川伸君（立国社）

### (1) 持続化給付金関係

- ア 5月1日の申請開始日における申請件数及びこれに対する採択・不採択件数の処理状況
- イ 5月1日の申請開始日にサーバーダウンしデータの一部が破損したとの報道に対する事実確認
- ウ 申請後一か月を経ている審査中の申請者に対して経済産業省から連絡する必要性についての梶山経済産業大臣の見解

### (2) 容量市場関係

- ア 同制度の概要及び石炭火力・原子力を支える制度であるか否かの確認
- イ 同制度のスケジュール、想定容量、約定価格、指標価格及び具体的な国民負担についての見通し
- ウ 同制度の資金が石炭火力・原子力の維持のために利用される懸念に対する梶山経済産業大臣の見解
- エ よりコストの安い減価償却の終わった古い石炭火力等が利用される懸念に対する見解
- オ 同制度の7月実施後に石炭火力・原子力が大量に確認された場合は制度を見直すべきとの意見に対する梶山経済産業大臣の見解

### (3) 自分が試算した2030年度の再生可能エネルギー導入モデルと比較して政府のエネルギーミックスを考慮したモデルには石炭火力・原子力が多すぎるとの指摘に対する梶山経済産業大臣の見解

### (4) 天然ガス開発関係

- ア 東シナ海における天然ガスの埋蔵量及び最近の中国による開発動向
- イ 中国との良好な外交関係の下で資源開発を行う必要性に対する梶山経済産業大臣の見解
- ウ 我が国の周辺海域におけるメタンハイドレートの開発状況

## 柿沢未途君（立国社）

### (1) 発電側基本料金及び託送料金について再生可能エネルギー発電事業者に対し公平なもしくは優遇する制度とすべきとの意見に対する梶山経済産業大臣の見解

### (2) 蓄電池の内外価格差関係

- ア 梶山経済産業大臣の問題意識

- イ 一般財団法人電気安全環境研究所（以下「JET」という。）による蓄電池の認証について内外価格差縮小のため国際標準と整合性を持たせる必要性
- (3) 原子力関係者が幹部を占めるJETの組織体制の妥当性及び見直しの必要性
- (4) 持続化給付金の申請サポート会場設置の狙い及び意義
- (5) 一般社団法人サービスデザイン推進協議会（以下「協議会」という。）関係
  - ア 協議会の設立目的
  - イ 協議会が担うIT導入補助金に係る事務費の水準の適切性
  - ウ 平成18年8月25日の財務大臣通知「公共調達適正化について」における「一括再委託の禁止」に照らし、協議会がIT導入補助金の事務について96%を外注していることの適切性
  - エ IT導入補助金の外注先
  - オ 持続化給付金事務局の委託先の公募や協議会のウェブドメインの取得に係る日付から見て事前に委託先が協議会に決定していた可能性
  - カ 協議会設立時の定款作成段階から経済産業省情報システム厚生課が深く関与している可能性について公文書の審査を所掌する部署としての適切性
  - キ 協議会がウェブサイトを持たず財務諸表が公開されていないことは説明責任上問題であり改善すべきとの意見に対する梶山経済産業大臣の見解
  - ク 持続化給付金の支給事務に当たり協議会に支払われる事務局経費額の妥当性
  - ケ 持続化給付金の支給事務について適正かつ効率的、説明責任を果たした形で執行する必要性

#### 笠井亮君（共産）

- (1) 全国の緊急事態宣言解除後も引き続き中小企業事業者に対する支援を強化する必要性
- (2) 持続化給付金関係
  - ア 初日に申請を行った人たちは一刻も早い給付を希望していることの認識の有無
  - イ 申請から二週間程度で給付されることの確認
  - ウ 初日に申請したが未だ給付されていない人がいるという認識の有無
  - エ 性善説に立った迅速な支給を行うことについての確認
  - オ 今月中に給付がされないことにより最大五十二万もの事業者が廃業に追い込まれかねない事態にあることの確認
  - カ 申請書類の審査手続の在り方
  - キ 給付までの申請手続や審査を簡素化し、徹底的に事後審査に切り替える必要性
  - ク 安倍総理大臣の事後対応を徹底すればよいとの国会での説明と全く逆のことが起こっていることについての梶山経済産業大臣の見解
  - ケ 迅速かつ大量の給付が実現していない現状についての梶山経済産業大臣の見解
  - コ 雑所得や給与所得で申告したフリーランスや新規創業者への適切な申請受付開始時期と審査手続の在り方

#### 足立康史君（維新）

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化した物資の供給途絶リスクの内容
- (2) 米中関係が悪化する中における我が国の対中通商政策の在り方
- (3) G20大阪サミットにおいて安倍内閣総理大臣により主導された国境を越えた自由なデータ流通等を目指す「大阪トラック」の意義を踏まえた今後のデジタル経済政策の在り方
- (4) 生産拠点の国内回帰支援予算よりもASEAN等の海外への分散支援予算を強化すべきであるとの考えに対する経済産業省の見解

2 中小企業の事業承継の促進のための中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第 50 号）

- ・梶山経済産業大臣から提案理由の説明を聴取しました。